

海老名小学校 学校運営協議会 議事録
(令和4年度 第3回)

- 1 日 時 令和5年2月16日(木) 10:30開会
- 2 場 所 海老名小学校西棟1F会議室
- 3 出席委員 赤塚誠委員長、小田島恵子委員、生駒晶委員、谷向翔委員
奥泉憲委員、石田雅樹委員、神村博之委員

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶(奥泉校長)

(2) 報告事項

『令和4年度の振り返り』

【運動会、遠足、修学旅行、野外活動等学校行事】

校長：今年度は、修学旅行、野外活動の他、各学年の遠足についても予定通りに実施することができました。1年生から4年生の児童もとても楽しそうに参加していました。特学合同宿泊(愛川ふれあいの村)も11月24、25日に久しぶりに実施され、宿泊にあたっては、児童の健康面等心配なこともありましたが、子どもたちにとっても充実した2日間を過ごすことができました。

【今年度新規の取組① 6年生音楽鑑賞会 10月20日】

校長：今年度新規の取り組みとして音楽専科の大島教諭を中心に実施しました。発表会当日は、プロのバイオリニストも来ていただき、子どもたちが聞いたことがあるような曲を生バイオリン演奏で聞かせてもらいました。さらに、大島先生はじめ石田教頭、6学年担任も交えての演奏もあり子どもたちも喜んでいました。また、実際に子どもたちの体験コーナーもあり、とても内容の濃い1時間を過ごすことができました。次年度も状況が整えば、是非実施したいです

【今年度新規の取組② 6年生書道パフォーマンス鑑賞会 12月16日】

校長：こちらについては、今年度新規の試みで、P本部役員さんを中心に準備を進めていただき、当日は参加した6年生もとても喜んでくれました。早稲田大学の書道パフォーマンスサークルの学生たちが大勢来校し、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。コロナの状況あり、サークルとしてもこれまでなかなか発表の機会が制限されていたので、学生さんたちも今回の試みに張り切って参加してくれました。実施してくれた学生さんたちにとっても、それを見せていただいた子どもたちにとってもとても充実した1時間となりました。

【高学年学習発表会 2月14日（4年生）、15日（5年生）、16日（6年生）】

校長：各学年ともに3年ぶりの試みでした。試行錯誤の中でも趣向を凝らし、学年の実態に応じたものを作りあげていました。保護者の皆さんも大勢参観下さり、子どもたちは緊張感の中でも、練習の成果を十分に発揮していたと思います。

（3）協議事項

『令和5年学校運営方針について』

校長：今回は、是非委員の皆様は次年度の学校運営方針についてご協議頂きたいと考えております。お手元にある令和5年度グランドデザインをご覧ください。これから私の方から重点項目をお伝えしますので、その後でご意見等聞かせて頂けたらと思います。

まず、「体力づくりの推進」についてです。次年度は運動会を3部制から2部制で実施する予定です。1. 3. 5年、2. 4. 6年に分けて行い、5、6年生には、当日の係活動も行ってもらおう予定です。

谷向委員：2部制となり高学年が係り活動も行うことは、子どもたちの経験としてもとても良いことだと思います。また、6月に実施ということで熱中症も心配されます。以前パパパワーズで運動会当日にお手伝いしていた冷却用のミストの活用も検討してみてもはいかがでしょうか。

校長：感染症状況にも関わってきますが、熱中症対策については、検討していかなくてはならないと考えています。もし、お手伝いが可能ならパパパワーズの皆様にもご相談させていただきます。

次に「教育支援体制の充実」についてです。本校はここ数年、不登校児童の数が増えてきています。その対応策として、教育相談コーディネーターを中心とした児童本人、保護者、そして学級担任への支援体制の再整備を進めていきます。

小田島委員：現在、不登校には様々な要因があると思います。授業に出られない子や学校に登校出来ない子でも、例えば放課後の「あそびっ子」に参加してもらうということを考えても良いのではなでしょうか。「あそびっ子」に参加することで、不登校の問題が解決される訳ではないと思いますが、保護者としては、登校できない自分の子どもでも、外にでる機会があるということは大切なことでないかと思います。

校長：私も、こちらで積極的に関わったとしても、不登校の子どもたちの個々の要因がすぐに解決するとは考えておりません。時間をかけて解決する道筋の中に、もし可能ならば「あそびっ子」などの活動に参加していくという

事も、今後大切な選択肢になって行くかもしれません。「あそびっ子」の運営、今後ともよろしく願いいたします。

次に、「学習環境の整備（ICT機器の適切な管理運用）」についてです。今、子どもたちは、各授業の中でも一人一台のタブレット活用し学習を進めています。市教委としては、近い将来、毎日の各家庭への持ち帰りも検討しています。本校としてもタブレットの活用方法と管理方法の両面を検討していかななくてはならないと考えています。

生駒委員：ねこの手スタッフとして様々な学習のお手伝いに入らせてもらっていますが、どの教科でも子どもたちは、すぐタブレットで調べようとします。まず、自分たちで考えてというステップが弱いような気がします。課題を調べるにしても、ただタブレットを渡すのではなく、どの様な視点でタブレットを活用したらいいのかという指導も必要になってくるのではないかと思います。

小田島委員：私も、タブレットの活用については、調べ学習等について自由に使えるよりも活用の仕方の指導が必要になるのではないかと感じています。

石田教頭：基本タブレットについては、活用の幅を広げすぎるよりも、今はまず、必要な時にしか使わないという共通理解も必要になると思います。

校長：いずれにしろタブレットについては、将来的な家庭への持ち帰りも念頭に入れ、授業中も含めた様々な学校生活の中で活用制限を設けるよりも、むしろ活用範囲を広げていく事になっていくと思われれます。ただ、過渡期としての今の時期には、タブレット活用についてのいくつかのルールも必要なのだと思います。次年度以降検討していきます

最後に、「特色ある教育活動の推進（鼓笛活動の推進）」についてです。昨年、一昨年のコロナ禍をどうにか乗り越えて、本校伝統の鼓笛隊の活動を継続させることが出来ています。ただし、学校全体の職員が関わっての活動でもあるので、今後持続可能な形を探っていかななくてはいけないと考えています。

赤塚委員：鼓笛の活動については、もう何年も前になりますが、私自身も海老名小学校の高学年の担任として鼓笛の指導に関わったことがあります。その当時もどうしても高学年担当の先生方に負担が大きくなってしまった記憶があります。全職員で負担を分担しながら、将来より良い形で伝統ある鼓笛の活動が継続される事を期待しています。

校長：皆様、ご意見ありがとうございます。次年度の学校運営方針に生かしていきたいと思います。

(4) その他 特になし

(5) 6年生の学習発表会リハーサルの見学

11:45 閉会